

子ども食堂へエール

水沢中央LC創立55周年記念事業

運営4団体に助成金

市社会福祉協議会（田面木茂樹会長）は2日、水沢南町の市総合福祉センターで、子ども食堂支援事業助成金の交付式を行った。

水沢中央ライオンズクラブ（及川三美会長、水沢中央LC）の寄付金65万円を水沢地域で

子ども食堂を運営する4団体に分配し、地域福祉のさらなる推進に期待した。

水沢中央LCは1月、

創立55周年の記念事業の一環で、子ども食堂に対する支援金を市社会福祉協議会に寄付。市社会福祉協議会を通じて、同LCが指定した4団体に16万2500円ずつ配った。

助成金を受けたのは、▽学校法人日高学園（千葉洋子理事長）▽みなほし実行委員会（伊藤千恵委員長）▽みんなの家（三田幸絵代表）▽NPO法人奥州わらすば（大内玲子理事長）――。

式には関係者約20人が出席。田面木会長が4団体の代表者に助成金を手渡した。

田面木会長は「皆さんの活動が市全体の地域福祉を推進する。安心して暮らせるまちを目指し、今後も一緒に取り組んでいきたい」とあいさつ。及川会長も「地域の皆さんと横の連携を取りながら活動を支援していきたい」と話した。

日高学園が運営する認定こども園日高ななつ星の千葉正睦園長は「一人の温かさが伝わるような活動を継続したい」。伊藤委員長は「助成は大変励みになる」、三田代表は「地域みんなが楽しく笑って過ごせる場をつくる活動を細く長く続けたい」、大内理事長は「弁当を取りに来た人に持たせるおみやげの資金にしたい」とそれぞれ謝辞を述べた。



子ども食堂支援事業助成金交付式の様子。